



議会 だより

千早赤阪

一般質問

田村 陽

予算・決算に成果指標の導入を
ホームページのチェックは行われているのか

藤浦 稔

通学路を中心とした
交通安全対策は
登下校時の安全対策は

井上 浩一

液体ミルクの活用を
妊婦健診の公費助成を

関口 ほづみ

高齢者へのバス運賃補助を
棚田周辺へのトイレの設置を

山形 研介

認定こども園開園にむけての流れは
今後のロープウェイ及び観光に関する見解は

千福 清英

村過疎地域自立促進計画の進捗と今後について
ふるさと納税の現状と、返礼品の発掘と開発について

vol. **129**
Aug 2019
6月定例会

6月定例会 議決結果

○全会一致で同意された案件

- 固定資産評価員の選任について

○全会一致で可決された案件

- 千早赤阪村職員定数条例の改正について
- 千早赤阪村森林環境譲与税基金条例の制定について
- 千早赤阪村税条例等の改正について
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の改正について
- 千早赤阪村介護保険条例の改正について
- 令和元年度千早赤阪村一般会計補正予算（第3号）
- 令和元年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和元年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 動産の取得について（高規格救急自動車）
- 千早赤阪村報酬及び費用弁償条例の改正について
- 森屋ちびっこ広場損害賠償請求控訴事件の和解について
- 令和元年度千早赤阪村一般会計補正予算（第4号）
- 動産の取得について（村立小中学校 ICT 整備事業）

鳥獣被害対策実施隊

かねてより鳥獣による被害が村民の深刻な懸念となっており、

これまで村は、広報や講習会などによる意識啓発、電気柵・ワイヤーメッシュなどの設置補助、猟友会への捕獲委託など行ってきました。

しかし、従来どおりの対策では根本的な解決に至らないとの声を数多くいただいております。

村議会と致しまして、党派の垣根を超え、抜本的な鳥獣被害対策をとるよう村に再三要望を繰り返してまいりましたが、このたび各地区のご協力を得て、また国庫からの支援も受けて、「鳥獣被害対策実施隊」を新たに組織することが決定致しました。

鳥獣被害対策実施隊



におきましては、当初16名程度の隊員を募集し、ワナなどによる捕獲の実施を計画しております。

これまで捕獲対策としては、千早猟友会への委託のみとなっておりましたが、今後は千早猟友会と鳥獣被害対策実施隊との両輪で有害鳥獣の頭数削減の実現を目指してまいります。



村議会議長
田中博治

平素は議会活動に関してご理解とご支援をいただき、心よりお礼を申し上げます。平成に代わる新しい元号の「令和」も国民の皆様へ愛され、徐々ではあります但違和感なく進んでいます。

さて、5月28日には東京国際フォーラムにて全国町村議会・副議長研修会が開催され、スローガンとして、「これからの町村議会を考える」でした。まず初めに講演会があり、議員報酬等のあり方について、引き続き町村議会特別表彰議会より3件の体験発表があり、それぞれの議会でも苦悩され、日々努力をされている様子が同士として伝わり考えさせられました。また、6月28日より2日間にわたって日本初開催となる主要20カ国・地域首脳会議が大阪市内で開催され、安倍総理大臣司会のもとで無事閉幕致しました。

ところで月日が経つのは早いもので、新入議員の4名の方は当選以来2年が経過して、いよいよ後半戦となりました。5月10日の臨時議会において臨時号でお知らせしたように、2つの常任委員長や特別委員長等については、全役共に新人議員の方をお願いを致しました。これからの村議会は若く新しい考え方で運営をされますので、乞うご期待を!!

全員協議会

6月20日

1、請負契約報告

小吹台団地東側調整池の^{しゅんせつ}浚渫工事（池の底面をさらって土砂などを撤去する工事）について報告が行われた。

2、監査結果報告

観光・産業振興課および教育課を対象とする監査が行われ、事務の執行に関し検討または改善の必要性が指摘された。

3、ちはやあかさかプラスチックごみゼロ宣言

プラスチックによる海洋汚染の懸念から、本村においてもプラスチックごみゼロに向けて不断の取り組みを続けていくことが確認された。

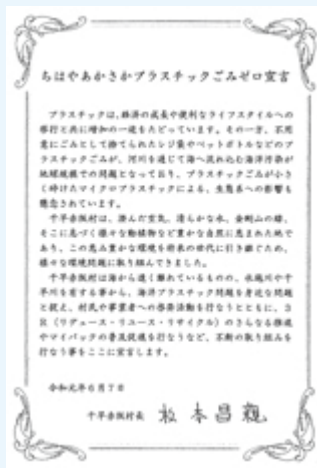
4、森屋ちびっこ広場損害賠償請求控訴事件の和解について

契約終了にともなう土地の原状回復について土地所有者と村との考え

に隔たりがあり、損害賠償を求めて訴訟が提起されていたが、このたび裁判所より和解による解決が望ましいとの勧告が出されたとの報告が行われた。

5、鳥獣被害対策実施隊について

本年度予算において提起されていた鳥獣被害対策実施隊の詳細について説明が行われた。詳しくはページを参照。



今月の表紙



小吹台 **藤原 さくら** ちゃん
(ふじわら さくら)

5才4ヶ月

藤原 ももこ ちゃん
(ふじわら ももこ)

5才4ヶ月

これからも、いろいろな人と出会い、
たくさんの人に愛されますように・・・。

父：徹さん 母：直子さん

表紙写真 大募集!!

千早赤阪村議会だよりの表紙を飾っていただける
お子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真。(複数人でもかまいません。)

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話またはE-mailにてご連絡ください。

議会事務局 ☎ 0721-26-7168 E-mail iken@vill.chihayaakasaka.lg.jp

問

予算・決算に成果指標の導入を

答

次期総合計画にあわせ、検討していきたい



田村 陽議員



住民意識調査結果。現在はホームページ上に公開されている

問 予算・決算において明確な成果目標が設定されておらず、各事務事業の費用対効果について評価が困難な状況にある。事務事業の成果を正確に

答 予算・決算と連動させながら成果指標の立て直しを進め、次期総合計画にあわせ、できる限り職員の負担にならないよう、実施方法などを検討していきたいと考えている。

望 過去の行政評価を振り返ると、大変なだけ

評価するためにも予算・決算において成果指標を導入するべきではないか。

答 予算・決算と連動させながら成果指標の立て直しを進め、次期総合計画にあわせ、できる限り職員の負担にならないよう、実施方法などを検討していきたいと考えている。

問 今から述べるのは6月1日時点の村ホームページの問題点だ。

ホームページのチェックは行われているのか

答 適切に事業成果を評価できる改善案となるよう検討してもらいたい。

まず村広報5月号に「千早赤阪村住民意識調査」の結果が掲載されており、ここに「詳細は村ホームページを参照」と

の記載がある。しかし発行から1カ月経ってもホームページには掲載されていない。5月中の最新情報31件中29件が給食センター。村長コラムは3月のリニューアル以降更新がない。決算の概要は平成29年度分が未掲載。子育てカレンダーはリニューアル後何の情報も掲載されていない。ホームページ全体のチェックは適切に行われ



リニューアルされた千早赤阪村ホームページ

たように思う。しかし、過去の行政評価が実効性の乏しいものであったとしても、成果指標による事業評価それ自体が不要ということにはならない。事業の評価は、会議の回数や補助金の金額ではなく、それによって村にどのような好影響を与えられたのかという観点から行われるべきだ。

望 一刻も早く、公的機関としてあたり前のホームページとなるよう尽力してほしい。

答 各ページの更新は所属長の権限において行っている。修正・更新について徹底していく。全体のチェックはできていないというのが実際のところ。今後は適正なホームページ運営となるよう十分努めていく。



藤浦 稔 議員

・森屋から中学校間の府

問 通学路を中心とした交通安全対策は

答 通学路の危険箇所点検を実施していく



中学校通学路の危険箇所

問 5月8日大津市で信号待ちをしていた園児ら16人が死傷する事故が発生した。

答 村及び村教育委員会としても警察と連携し、危険箇所の点検を実施し、安全のために啓発看板など村やPTAにより設置しているが、安全確保のため、大阪府など関係機関と連携していく。また、村道の改良などの安全対策についても改善に努めていく。

問 本村の通学危険箇所として

道で、グリーンベルトが薄く、草木が生い茂り通学に支障が出ている。

・消防分署から中学校までの村道も自転車通学に危険である。

・北水分地区のカーブなどで早急に関係機関に連絡し、解決する方策を進めてほしい。

答 府道は随時要望し、また村道は現地を確認しながら対応し、北水分地区の安全対策についても大阪府に要望していく。

問 地元では、北水分地区のカーブのスピード制限を40kmから30kmにしないかを20年前から要望している。大きな事故が発生する前に解決することを要望する。

答 現在、大阪府と共同で警察に速度制限の変更を要望する予定。

要望 村民の要望や声は真剣に受けとめ、耳をかたむけ解決してほしい。

登下校時の安全対策は

問 5月28日、川崎市で小学生ら20人が殺傷され

るといふ事件が発生した。この事件をうけ、大阪府教育庁では、各市町村教育委員会に「通学路の安全対策や警察と学校との情報共有について」指示された。

答 今回の事件は、メンタル面を考慮すると児童・生徒等に周知する事案でないかと判断した。

問 この事件で大阪府教育庁から、児童・生徒等

要望 日常の指導教育を

の安全確保の徹底について依頼があり、村教育課から、学校・園長に登下校時などの安全確保を依頼した。

また、警察と緊急時の連携強化を図っている。

問 事件が事件だけに、児童・生徒等に精神的動揺を与えては、という難しいこともあるが、どのように認識しているのか。

答 今回の事件は、メンタル面を考慮すると児童・生徒等に周知する事案でないかと判断した。

要望 日常の指導教育を



北水分地区の危険カーブ



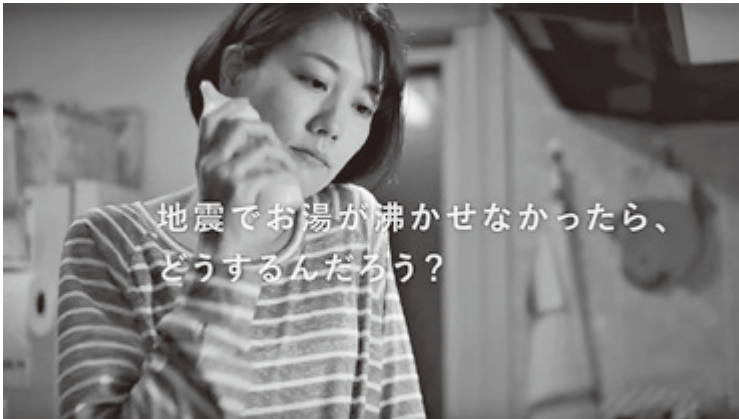
液体ミルクの活用を



他市町村の動向を注視していきたい



井上浩一 議員



地震でお湯が沸かせなかったら、
どうするんだろう？

液体ミルクなら大丈夫！

問 液体ミルクとは調乳済みの乳児用ミルクで、液体の商品。本年3月、国内での製造・販売が開始された。背景には、災

答 液体ミルクは災害時の備蓄品として注目され

害時に海外からの支援物資として届いたが認知不足によりほぼ無駄になった経緯がある。本来衛生的な面で粉ミルクよりも優れ、特に災害時には有効だが村では備蓄品として考えているのか、また

しているが、村では粉ミルクや使い捨て哺乳瓶、カセットコンロなどを備蓄するとともに、民間のスーパードッグなどと災害時応援協定を締結している。村ではコストや消費期限などから現時点において導入予定はない。

期限が近い備蓄品の有効活用については、防災訓練や離乳食講座などに行っている。

問 「災害時における物品の供給協力に関する協定書」にも液体ミルクの導入はできないか。

答 今後、協定先と協議していく。

問 重ねて言うが液体ミルクの有用性を考慮し、広報や体験会などで安心安全のための努力を願いたいと考えは。

答 災害時応援協定に追加できるか、協議するとともに、他市町村の動向を注視していきたい。

要望 早期の導入を望む。

妊婦健診の公費助成を



「マタニティマーク」思いやりのある行動を。

問 妊婦健診については保険対象外で、村では最大14回、11万6840円までの実費を助成している。だが多胎児妊娠の場合、リスクが大きくなり検診・検査の回数も増え経済的な負担になる。そこで追加で5回の検診を助成する自治体が増えていて、本村での導入予定を伺う。

答 追加助成については他市町村を参考に検討するとともに国に財政措置

等を要望していく。
問 現在の交付金は1人あたり約12万円が100%支給されるが、少ない検診回数で終わる方もありと聞く、その場合残りの回数分が余る。また追加助成5回の検診費用も一人当たり約2.5万〜3万で多胎児妊娠の率からすると高額ではない、考えを伺う。

答 村ではほぼ受診されている状況。助成については子育て支援制度全体の中で検討していく。

要望 安心安全のため、早期の導入を願う。

掲載記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



高齢者へのバス運賃補助を



地域公共交通協議会で意見を聞きながら検討したい

問 運転免許を返上する高齢者が増加している。新聞・テレビでは毎日のように高齢者ドライバーによる交通事故が報道され、身につまされる思いだ。村では自家用車がな



路線バス

いと生活に支障があり、

高齢になっても簡単に運転免許を返上することができない。昨年9月より、

タクシー利用助成が実施され、利用者から喜ばれている。一方、タクシーは一回の負担が大きく、

低所得・年金暮らしでは、利用できないと言う声もある。

高齢者ドライバーによる交通事故件数が増加するなか、国や自治体では免許の自主返納を推奨し

関口ほづみ議員

ているが、村内での生活実態を考えると難しい面があり、地域や国全体での対策が求められている。タクシー助成と併せて高齢者への金剛バス・南海バスの運賃補助を求める。

答 外出困難な人の通院や買物を目的に実証実験として、タクシー利用助成を実施している。昨年の利用実績は239人が申請され、198人が利用されている。

65歳以上の運転免許証返納者数は平成29年度29人、平成30年度26人であった。

バス運賃補助が移動手段の解消に効果的か検討が必要。今後地域公共交通協議会で検討したい。

要望 タクシーに限定せず、バス運賃補助も選択できる制度の検討、急発進防止装置の取り付けへの補助など検討を要望する。

棚田周辺へのトイレの設置を

問 中学校の村道が閉鎖され、役場やくすのきホールのトイレを利用するにもこれまでより遠くなり不便だ。消防分署横の休憩所へのトイレの設置を求める。

答 農村公園のバイオトイレは、景観が悪いという指摘もあり平成30年9月に撤去した。棚田所有者からマナーの悪い見学者に対する複雑な思いも聞いている。棚田周辺は、赤坂城跡でもあり、設置は困難だ。美しい棚田風

景の影には、農家の厳しい労働環境の中、伝承しようとする努力によって維持されている。棚田は農家の米づくりの大切な場所であり、トイレの設置は考えていない。

問 テニスコートのトイレの改修が計画されている。このトイレを施設せず開放して、棚田保全のため活動している人や観光客に開放できないか。

答 テニスコートトイレの利用については、今後の維持管理もあるが、貴重なご意見としてお聞きしておく。



テニスコートトイレ



認定こども園開園にむけての流れは



令和2年4月に開園を目指す



山形研介 議員



認定こども園建設予定地

問 認定こども園については、村の主要施策の一つであり、子育て世代の保護者および、住民の関心は高いものと思われる。今後の開園にむけての取り組みの流れを伺う。

答 現在計画を進めている認定こども園については、保育園機能と、幼稚

問 認定こども園については、村の主要施策の一つであり、子育て世代の保護者および、住民の関心は高いものと思われ。今後の開園にむけての取り組みの流れを伺う。

答 現在計画を進めている認定こども園については、保育園機能と、幼稚

問 認定こども園については、村の主要施策の一つであり、子育て世代の保護者および、住民の関心は高いものと思われ。今後の開園にむけての取り組みの流れを伺う。

答 現在計画を進めている認定こども園については、保育園機能と、幼稚

問 認定こども園については、村の主要施策の一つであり、子育て世代の保護者および、住民の関心は高いものと思われ。今後の開園にむけての取り組みの流れを伺う。

答 現在計画を進めている認定こども園については、保育園機能と、幼稚

今後のロープウェイ及び観光に関する見解は

問 ロープウェイの運行を中止あるいは継続した場合について。

答 6月末には全体的なコンクリート強度が判明する予定。強度があった時は補強を行うことができるが、なかつた時には、駅舎の建替えあるいは

問 観光について、ハード整備だけに頼らず、ソフト事業の構築を行う上で「ちはや星と自然の

答 「ちはや星と自然の

要望 令和2年4月に開園できるように。

答 「ちはや星と自然の

答 「ちはや星と自然の



金剛山ロープウェイ千早駅



千福清英 議員

問

村過疎地域自立促進計画の進捗と今後について

答

本計画のとおり概ね進んでいる



過疎債で整備されたくすのきホール駐車場

問 平成26年に村の財政状況、人口の動向が過疎地域となった。過疎地域となった。そのような状況の下、自立促進計画が作成され現在にいたっている。この計画のもとに様々な分野において、事業が実施

されてきたが進捗状況を伺う。

答 またこの計画は来年度までのものであり、新たな促進計画はどのように進めるか村の予定を伺う。

問 進捗状況については、毎年、変更なども含め、計画通り概ね進んでいる状況である。新たな過疎法については、政府の過疎問題懇談会や政権与党によるPT、また本村も加盟している過疎連盟において調査研究されている。これらを資料と

して、議員立法という手順になると思う。このような状況を注視しながら今後、本村としては引き続き、過疎地域と指定されるよう要望する。また、次期総合計画と整合性を図りながら進めていきたい。

問 次期総合計画策定に向けての予定は、どのようになっているか伺う。また、答弁のなかに過疎連盟とあるがどのような活動か伺う。

答 本年度中ごろより、庁内における策定委員会を組織し検討をはじめ、住民ワークショップ、有識者、住民代表による審議会などで審議し、令和2年度後半にまとめた。

また、過疎連盟の事業としては、自立促進のための施策の推進、及び過疎地域の活性化と自立促進における調査研究や資料の収集、関係省庁との意見、情報交換をするな

ど活動を行っている。 **【要望】** 村が、過疎地域であることを職員全体で認識し、自立促進に向けての事業の展開を要望する。

ふるさと納税の現状と、返礼品の発掘と開発について

問 ふるさと納税の新制度が6月よりスタートとなった。返礼品は地場産で寄付額の3割以下となっており、各自治体は地場産品の発掘などの対応に

おわれているとの報道があった。村の財源を見ても、税収が減る中、この制度の寄付額は貴重である。そこで近年の状況

を伺う。また返礼品の開発に向けての対応はどのようになっているか伺う。

答 直近の3年間の合計は約4億円となっているが、国の指導によりモデルのポイントをJTBの旅行券を見直した結果

昨年度は大幅な減少となっている。

新たな返礼品の開拓に向け、広報紙で募集したが、応募がなかった。

引き続き新たな返礼品の募集や関係機関と連携を図るとともに、この制度の趣旨を踏まえ、これからの、むらづくりに共感できる魅力的な政策や、事業を積極的に発信し、応援をいただける仕組みを検討したい。

【要望】 制度のシステムを有効に活用、反映するため、官と民の連携、庁内の連携を密に村の魅力発信に繋げていくよう要望する。



ふるさと納税返礼品の一例

研修報告

研修日 令和元年7月10日

研修内容・議会広報クリニックス

○「議会だより」は読まれているのか

情報の公開型と共有型があるが、住民に読まれ、伝わっていることが大切。

そのためには、読みやすく、手取りにたくなるか、アピール力はあるか等チェックが必要である。

議会広報としての位置づけは、地域住民に議事情報の公開と参加を図る情報の提供にある。政策評価や提起などのサイクルがあるべき。



○議会だよりの内容はどうか

読み手の側に立って編集、写真を活用する中、関心の高い情報は何かを考え、企画を検討することが必要。

今後、どのようにすれば一層「開かれた議会」となるかを検討していきたいと思う。

千早赤阪村議会だより

2019年(令和元年)8月1日発行

雑感

年々科学が進歩し、今まで夢物語だったことが実現したり、教科書の内容が変更されたりしている。しかし理解できない事は次々増えるばかり、まさに「いたちごっこ」だ、多分私たちの能力では理解不能事がほとんどなのだと感じる。

宇宙の起源、生命とは、心って何。様々な疑問は日々の生活の中に埋没してゆく。

過ぎてゆく時間は戻る

ことはない、今ここからどうするかによって未来が決まるのは間違いないだろう。

一人一人の人生が世界を形作っている。

ならば一人でも多くの、その人なりの幸福を、周りの人たちと共に築くことが世界平和につながるのだろう。

G20が大阪で行われた、各国首脳の決断が世界を動かす、あやまたず平和の道を進んで欲しい。

武力ではなく、対話の力で。

K・I

議会を傍聴

しませんか？



次回定例会の予定

9月3日(火)から9月27日(金)です。

9月3日 本会議

9月27日 本会議(一般質問)

開会時間はいずれも午前10時です。

このほか、各委員会なども開かれます。

(議会事務局 ☎0721-26-7168)

議会事務局は保健センター2階、議場は3階集団指導室兼議場です。

広報編集委員会

委員長	田村 陽	副委員長	関口ほづみ
委員	井上浩一	委員	千福清英
議長	田中博治		